

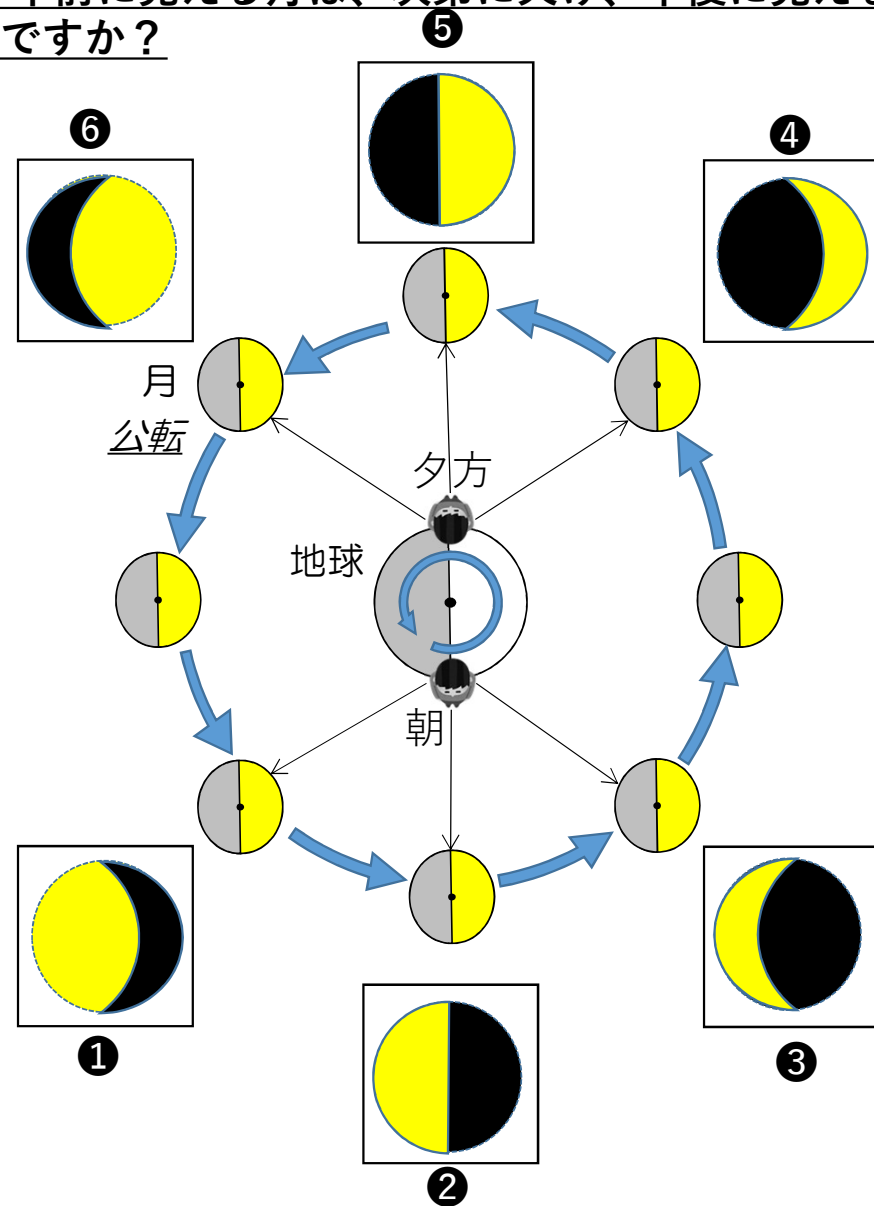
Q.毎日同じ時刻に観察すると、午前に見える月は、次第に欠け、午後に見える月は、次第に満ちていくのはなぜですか？

①午前に見える月⇒朝
午後に見える月⇒夕方とする

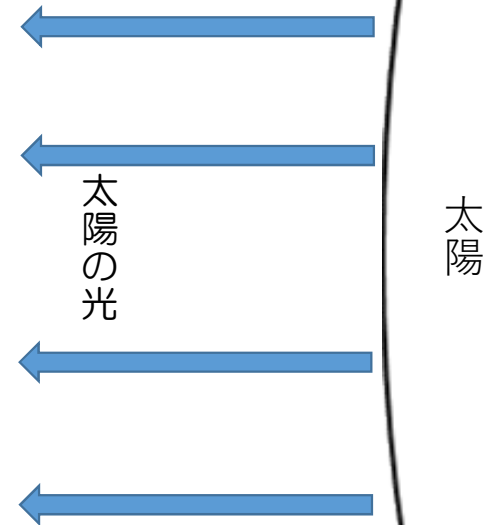
②月は地球の周りを
約1か月かけて公転
している
⇒右図の□の中のように
見え方が変わっている。

③朝見ている人は、日が変わるごとに①⇒③と
月が欠けていくように見える。
夜見ている人は、日が変わるごとに④⇒⑥と
月が満ちていくように見える。

3年生のレベル
詳しくは3年で！



地球上から見た月と、宇宙空間から見た月を頭の中で想像しなければなりません！！



太陽は動いていません。
動いているのは、『地球』と『月』

Q.結露について、教科書にも載っていなかったので、どのようにできるか詳しく知りたいです。

結露…空気中の水蒸気が水に変化する現象

空気中には、目に見えない水蒸気がただよっている。
このようにただよう水蒸気が多ければ、
『湿度が高い！ジメジメする』となる。
水蒸気が少なければ、『乾燥する』となる。
空気中にただようことができる水蒸気量は、温度によって
変わってくる。
温度が高ければ、多くの水蒸気がただようことができる。
温度が低ければ、少しの水蒸気しかただようことができない。

ここで、右図のコップをイメージしてほしい。
氷水入りのコップの周りの空気は氷水によって冷やされる。
つまり、ただよっていた水蒸気入りの空気が急激に冷やされ、
水蒸気を保てないぐらいに急に冷やされる。
そうすると保てなくなった水蒸気は水に変化する。
冷たいコップの周りに水滴ができるのはこの現象。

2年生のレベル
詳しくは2年で！

コップの周りの空気
が冷やされる

